

まちづくりシンポジウム企画書(案)

私たちの愛するまちを未来へとつなげていくために
～ あなたの1歩が地域を変える ～

1. 開催趣旨

高浜市では、第6次総合計画に掲げるまちづくりのキャッチフレーズ「思いやり 支え合い 手と手をつなぐ 大家族たかはま」の実現に向けて、「住んでみたい」「住んでよかった」「いつまでも住み続けたい」と思えるまちをみんなで力を合わせて築いていくための取り組みを進めています。

その原動力となるのは「人」、各種アンケート結果でも「まちづくりを担う人の大切さ」に対する意見が多く寄せられています。また、行政においても、市民や地域と真剣に向き合い、その頑張りを支える職員の育成も急務となっています。「私たちの愛するまちがこうなったらいいな」「こうしていきたい」と一人ひとりが思い、行動していけば、夢を形に、理想を現実にしていくことができます。

そこで、今回のまちづくりシンポジウムでは、まちづくりに情熱をもって取り組んでいる方々をお招きし、あるものを活かした地域づくり、人と人との絆の再生、住みよい豊かな地域社会づくりにどう取り組んでいるか、先進事例をご紹介します。その活動の根底には「自分のまちを愛する心」があり、それが他の人の気持ちを動かし、まちを変えています。一人でも多くの方が「できるときに できることを」の一步を踏み出していただけのような機会としてまいります。

2. 日程 平成24年12月9日(日)午後1時30分～4時(開場:午後1時)
3. 会場 高浜市立中央公民館 ホール
4. 主催 高浜市
5. 対象・定員 市民、市議会議員、市役所職員など 約500名
6. 構成(案)

第1部「基調講演」

人口約300人、高齢化率も4割を超える過疎の村で10年以上にわたって全員総出の村おこしに取り組み、住民にボーナスが支給されるまでの大成功を収めたエピソードで知られる「やねだん」の豊重哲郎さん(鹿児島県鹿屋市柳谷公民館館長)を迎え、地域資源の活用や人材育成を通じた「地域再生」など、「感動の地域づくり」についての熱い想いを語っていただきます。

一休憩時には、高浜市で行われているまちづくり活動を発信します(パワーポイント上映)ー

第2部「鼎談」

元・神戸新聞記者である相川康子さんをコーディネーターにお迎えし、阪神・淡路大震災の災害報道にかかわってきた経験や少子高齢社会におけるまちづくりの研究などを踏まえ、まちづくりの現場に立ち、熱く燃えている出演者の方々の活動にかける情熱や取組内容をじっくりとお聞きし、地域を元気にするまちづくり、市民と行政との協働によるまちづくりについて議論を深めます。

<コーディネーター>

- ・ 相川康子さん(特定非営利活動法人NPO政策研究所専務理事)

<出演者>

- ・ 室谷芳彦さん(三重県名張市・地縁法人美旗まちづくり協議会会長)
- ・ 〇〇〇さん ※調整中